

お鍬山 植物たより (H26. 5. 15)

お鍬山もいつの間にか緑も濃くなり、日陰での散歩にもってこいです。

お鍬山に行く道すがらの農道沿いは各種野草の花が咲き乱れています。そのなかでひととき目立つのがハルジオンですが、お鍬山の堰堤下の広場では農道沿いとは違って群生し、咲き誇っています。



ハルジオン 5.10

中央広場の林のなかに、一か所淡黄色の筒状鐘形の花が咲いていました。ツクバネウツギの花です。4月の下旬には真っ盛りでしたが、いまは1輪か2輪残っているのみで、多くは実となっています。その実は線形で先端にプロペラのようなものを残していて、それを眺めるのも面白いと思います。



ツクバネウツギの実 5.15

お鍬山に自生しているツツジはコバノミツバツツジ (紅紫色)・ヤマツツジ (朱赤色)・モチツツジ (淡紅紫色) ですが、4月中旬から5月中旬にかけて順次咲いていきます。いまは最後に咲くモチツツジも満開の時期をおえ、遊歩道沿いに咲いているのが2~3か所残っている程度です。花も満開の期間は1週間そこそこと云われていますが、その時期に出会うと見事で感動します。植栽したヒラドツツジ、ドウダンツツジ、レンゲツツジもきれいな花を咲かせてくれるようになりましたが、やはり自生しているコバノミツバツツジ、ヤマツツジ、モチツツジの山にしたいものです。なお、いまはエゴノキの鈴なりの様に白い花 (H25.6.25に掲載) が下垂して咲いているのを遊歩道沿いの各所で見る事ができます。スイカズラもツク



ツクバネウツギの花 4.26



モチツツジ 5.10



ヤマツツジ 4.26



コバノミツバツツジ 4.12

バネウツギと似た花が咲きはじめました。